

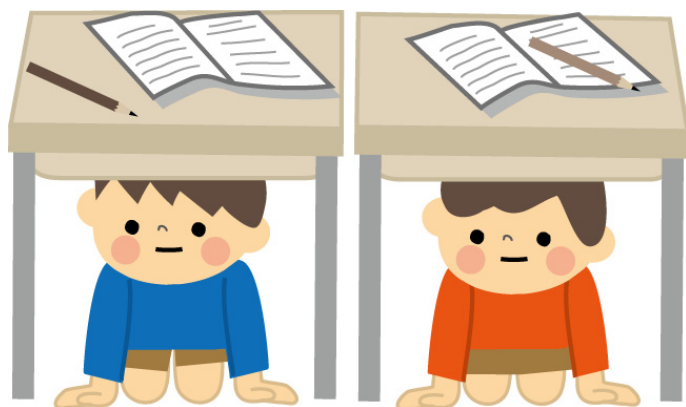
# 第4章

## 災害時の対応について

---

災害時には、アレルギー症状を引き起こすリスクが増えるほか、食物アレルギーを有する児童生徒が必要な支援を十分に受けられない可能性があるため、積極的な支援が必要です。

災害時に起こりうる問題点を事前に把握し、対応の準備を行っておくことが大切です。



## 1 食物アレルギーを有する児童生徒への災害時の対応

平成23年3月11日に起きた東日本大震災では、避難所での生活を強いられ、生活に大変苦労された食物アレルギーを有する児童生徒やその御家族が数多くいました。

学校は避難所になることもありますので、そうした児童生徒へも配慮できるよう災害時の対応について、事前に確認と準備をしておく必要があります。

### <災害時に起こりうる問題点>

食物アレルギーを有する児童生徒やその御家族においては、次のような問題が起こり得ます。

#### ○ 炊き出し時における食物アレルギーの原因となる食品の誤食

食物アレルギーを有する人は、通常の非常食を食べることができない場合もあることを十分に理解しておく必要があります。

##### <仙台市備蓄食料>

アルファ米・アルファ粥・ようかんは、アレルギー疾患に配慮したものとなっています。

※クラッカーはアレルゲンフリーではありません。

##### <支援物資>

避難所に支援物資が届いた場合には、アレルギーの原因となる食品が含まれている場合もあるので、注意が必要です。



#### ○ 食物アレルギーに対する周囲の理解不足

食物アレルギーは決して好き嫌いではありません。食物アレルギーを有する児童生徒やその御家族が避難先でも理解してもらえるように、教職員は、避難所自治会の方などに話して協力を得られるようサポートすることが大切です。



#### ○ アナフィラキシー時の対応の遅れ

緊急時には、保護者と連絡をすぐにとることができない場合が考えられます。内服薬やエピペン®の保管場所など、普段から確認をしておくことが大切です。

また、学校の緊急持ち出し袋の場所や内容などの確認も、普段から行っておくようにします。



#### ○ アレルギー対応食品の不足

保護者の方は、万が一に備えて個人の非常食の備え（自助）をしていることが考えられますが、災害によりそれを取りに行くことができない場合なども十分に考えられます。

食物アレルギー疾患について自治会等とも情報交換を図りながら、共助・公助の観点からも備蓄内容や緊急時の対応などについて確認を行っておくことが大切です。

## 『災害時のこどものアレルギー疾患対応パンフレット』

本パンフレットは、平成23年の東日本大震災をきっかけに作成されたものです。  
災害に備えた講習会のほか、日頃から災害時に備えて、災害時には避難所などで手元に置いて、活用いただくのに有用なパンフレットとなっています。  
また、避難所などで掲示できる、わかりやすい啓発ポスターも作成されています。

# 災害時のこどものアレルギー疾患 対応パンフレット



日本小児アレルギー学会  
平成29年11月改訂

「災害時のこどものアレルギー疾患対応パンフレット」（日本小児アレルギー学会 平成29年11月改訂）より転載  
[https://www.jspaci.jp/assets/documents/saigai\\_pamphlet\\_2021.pdf](https://www.jspaci.jp/assets/documents/saigai_pamphlet_2021.pdf) (参照年月: 令和7年3月)

災害時アレルギー対応

# 食物アレルギーのこどもへの対応

困ったことがあったら遠慮せず行政の方等に相談しましょう。

◇原因食物を食べないようにしましょう

「くるみ」が追加

1) アレルギー表示を確認しましょう

“鶏卵・乳・小麦・ピーナッツ、ソバ、エビ、カニ”は使用されていれば必ず原材料に表示されるので、確認しましょう。しかし、これ以外の食物は必ずしも表示されないので、注意しましょう。

2) 炊き出しで確認しましょう

原因食物が調理に使用されていないか、確認しましょう。しかし、大量調理なので少量混入は避けられないものと考えましょう。

3) 食べ物をもらっても、家族などに相談してから食べるように教えましょう

善意で食べ物をこどもに与える場合があります。必ず保護者が内容を確認してから食べることを、こどもに教えましょう。

4) 食物アレルギーがあることを周囲に知らせましょう

胸に「〇〇アレルギーあり」と書いたシールを貼るなどして、周囲の人に食物アレルギーがあることを分かりやすく伝えて、誤食事故を防ぎましょう。また、行政の方にアレルギーがあることを伝えて、支援が受けられるように早めに相談しましょう。



◇症状がでたら助けを求めましょう

以下の症状はすべて重い症状です。

一つでも現れたら、大きな声で助けを求め、早く医師に診せましょう。

本人のエピペン<sup>®</sup>があれば、速やかに打ちましょう。

全身の症状	唇や爪が青白い、脈を触れにくい・不規則、意識がもうろうとしている、ぐったりしている、尿や便をもらす
呼吸器の症状	のどや胸が締め付けられる、声がかすれる犬が吠えるような咳、持続する強い咳込み、ゼーゼーする、呼吸、息がしにくい
消化器の症状	繰り返し吐き続ける、持続する強いおなかの痛み

災害時のこどものアレルギーに関する相談窓口(無料)

▶メール相談: sup\_jasp@jspaci.jp



日本小児アレルギー学会

ホームページ URL: <http://www.jspaci.jp/>



## 避難所におけるアレルギー対応 (行政担当者用)

アレルギー患者は避難所などで困っています。  
行政・管理者側から積極的に援助してください。  
ぜんそく発作やアナフィラキシーを発症したときには、速やかに医療を受けられるようにしてください。

### ◇ぜんそく患者のために

- ・発作の原因（ホコリ、ダニ、ペット、煙、がれきなどの粉塵等）を吸い込むことを避けることが大切です。避難所における生活環境の管理・改善に配慮してください。
- ・発作を予防する長期管理薬を普段から使用することが大切です。電動の吸入器が必要な場合もあります。このような場合には、優先的に電源を使用できるようにしてください。

### ◇アトピー性皮膚炎患者のために

- ・普段から皮膚を清潔に保つことが大切です。可能な限り早く、1日1回できれば石けんを使って、シャワーや入浴ができるようにしてください。
- ・その外見から、心ない言葉をかけられたり、偏見を持たれたりすることがあります。薬を塗るときや着替えるときに、周囲の目に触れない場所でできるようにしてください。

### ◇食物アレルギー患者のために

- ・アレルギー対応食やアレルギー用ミルクなどの支援物資を一般支援と区分し、患者に渡るように管理のルールを決めてください。
- ・アレルギー対応食は食物アレルギー患者に優先配布してください。
- ・炊き出しでは、鶏卵・牛乳・小麦などアレルギーの頻度の多い食材を使用しない調理をしてください。また、食べられるものを優先配布してください。
- ・心ない言葉をかけられたり、支援が受けられなかったりします。避難所における食物アレルギーの啓発・周知をしてください。

災害時のこどものアレルギーに関する相談窓口(無料)

▶メール相談：sup\_jasp@jspaci.jp



日本小児アレルギー学会

ホームページ URL：http://www.jspaci.jp/

「災害時のこどものアレルギー疾患対応パンフレット」（日本小児アレルギー学会 平成 29 年 11 月改訂）より転載  
https://www.jspaci.jp/assets/documents/saigai\_pamphlet\_2021.pdf(参照年月:令和 7 年 3 月)

災害時アレルギー対応

## アレルギーのこどものために

食物アレルギー、ぜんそく、アトピー性皮膚炎などのこどもたちは、避難所などの食事や環境によって病気が急に悪化することがあります。

### ◆食物アレルギーのこどもがいたら行政担当者に知らせ、アレルギー対応食の支援を受けてください。

必要な除去食の内容（例：卵と小麦はダメ）やアドレナリン自己注射薬（エピペン®）を携帯してしていることなどの情報を行政担当者に伝えてください。



アレルギー用

### ◆アレルギーの原因となる食物、ほこり、ペットを避けましょう。



- ・支援食配給時、食物アレルギーのこどもに配慮をお願いします。
- ・炊き出しなどで調理に使っている食材を詳しく伝えましょう。
- ・マスクなどでほこり、煙、粉塵を避けて、ペットは室外で避難させましょう。

### ◆治療に必要な電源や水、スペースを優先して使用させてください。

- ・ぜんそく患者は電動の吸入器を毎日使用することがあります。
- ・毎日の清拭（ぬれタオルでやさしくぬぐうこと）やシャワーは、アトピー性皮膚炎の治療に必要です。



### ◆ぜんそく症状やアナフィラキシーがあるときには、すみやかに診察を受けましょう。

- ・ぜんそく：強い咳き込みやゼーゼーする呼吸がある場合。
- ・アナフィラキシー：食後に、急に咳き込み始めたり、強い腹痛や繰り返す嘔吐がみられた場合。エピペン®はなるべくその場で使用しましょう。



災害時のこどものアレルギーに関する相談窓口（無料）

▶メール相談：sup\_jasp@jspaci.jp



日本小児アレルギー学会

ホームページURL：http://www.jspaci.jp/

「災害時のこどものアレルギー疾患対応パンフレット」（日本小児アレルギー学会 平成 29 年 11 月改訂）より転載  
https://www.jspaci.jp/assets/documents/saigai\_pamphlet\_2021.pdf(参照年月：令和 7 年 3 月)